

平成 28 年度実施事業行政評価に係る外部評価 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	平成 28 年度実施事業行政評価に係る外部評価② 「時間外勤務の削減」【人事課】
開催日時	平成 29 年 8 月 1 日（火）午後 3 時 30 分から 4 時 30 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	外部評価委員（長久手市行政改革推進委員） 会長 和泉 潤 委員 杉山 知子 委員 江頭 隆行 委員 細萱 健一 委員 山元 眞一 担当課 市長公室長 高嶋 隆明 人事課長 北川 考志 人事課課長補佐 浅井 紳一郎 事務局 総務部次長 浦川 正 行政課長 飯島 淳 行政課課長補佐 児玉 剛 同主任 加藤 優作
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価委員の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意識改革だけが時間外勤務が増える要因ではないため、時間外勤務が増える要因分析をすること ・全体をつかむことは重要 ・ボトムアップによる職員の改善提案や所属長の仕組改革などが必要 ・改善提案を人事評価などにつなげることもよい ・効率化だけでは限りがあるため、仕事量を減らさないといけない ・所属長だけでなく、実務者にもヒアリングする必要がある（特に 1～2 年目の職員に聞くことが有効） ・人やお金などが足りなければ要求すること ・全庁的に取り組むのであれば、人事課が率先して指導していくこと ・人事課から全庁的に「市民サービスの生産性を高めていくために
----------------	--

	<p>何が「必要か」を問いかけ、議論すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務分掌の適正や事業のスクラップアンドビルドなども考えること ・他の部署との連携を図ること（横断的に考えていく必要がある） ・他の部署との連携について、評価票に記載すること ・連携にあたっては、人事課が音頭を取ること ・成果指標が観念的（指標が他にもある。時間数や手当額が減ればいいだけではない。大きな根本を変えるための指標を見つけること） ・庁内の情報の交換や共有も必要 ・当面は意識改革、情報共有を行い、それにより中期的に減ってくる ・仕事をするための仕事（業務）を増やさないようにすること ・代休制度や定時退庁日の徹底を図るなどすること
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの量や質の内容の洗い出しについて、人事課から提案すること ・他との連携を評価の中に盛り込み、内部評価すること ・庁内研修で職員の意識変化について、アンケートを取り、評価すること
---------------	---